

科目名	造形表現(指導法)SC						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	岡山直之		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	美術家歴35年		
対象学科・学年	社会福祉科2年						
授業概要	造形の基礎を踏まえた上で作品の制作を行い、保育現場における造形・表現方法についての理解を深める。その中で、身近な素材を用いた造形活動を実践し、作品制作後は発表とその内容についての振り返りを行うことで、更に学びを深いものにできることを目指す。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		自己表現する能力を深めることで、豊かな感性と人間性を身につける事ができる。	
	○			○		個性的な表現力のために、思考能力を発揮し、自己の文章・言葉で説明できるようになる。	
		○				明確な狙いを持って、保育現場で実践することが可能な教材を作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	これまで学んだ技法を用いて、作品制作の計画を立てる。			作品をイメージ化しておく		
	2	作品を用いての表現のみならず、言語的な表現も含めての表現方法を模索する。			おおまかな流れ、起承転結を考えておく		
	3	作品を用いての表現のみならず、言語的な表現も含めての表現方法を模索する。					
	4	作品を用いての表現のみならず、言語的な表現も含めての表現方法を模索する。			発表に向けてのイメージを膨らまし、シュミレーションを積み重ねることで具現化する。		
	5	2日目 発表の準備					
	6	2日目 発表の実施			発表の仕方(衣装、音楽、発声等)を工夫しておく		
	7	2日目 発表の実施			発表の仕方(衣装、音楽、発声等)を工夫しておく		
	8	発表・まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	出席を意欲点として評価する 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	○	◎		◎		50%
	レポート	◎	○		◎		50%
履修上の注意	遅刻・欠席は認められない(該当する場合は再履修となる)。						

科目名	子ども家庭福祉						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	上村 仁美		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	児童養護施設にて保育士として勤務		
対象学科・学年	社会福祉科 2年						
授業概要	こどもと家庭をとりまく現在の環境や現状の把握、またこれまでのこども家庭福祉にまつわる制度や施策を学ぶ。また、こどもを取り巻く現在の課題(少子化・虐待・貧困家庭・特別な支援を要するこども達への保育)にも触れ、保育者として、どのように子ども達と関わっていくべきか、そのために様々な社会資源を董理解し、活用するべきかを授業の中で学び、考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変換について理解する	
	○					こども家庭福祉の制度や実施体系について理解する	
	○	○				こども家庭福祉の課題について総括的に考察できる力を養う	
	○					保育者としてこどもの最善の利益をはかるための基礎的な知識を習得する	
テキスト・教材 参考図書	児童家庭福祉 こどもと家庭を支援する〔第3版〕 大津泰子著 ミネルヴァ書房						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業オリエンテーション こども家庭福祉とは					
	2	現代社会とこども家庭福祉① 少子高齢社会から見えるこどもと家庭を取り巻く環境					
	3	現代社会とこども家庭福祉① 少子高齢社会から見えるこどもと家庭を取り巻く環境					
	4	こどもを取り巻く社会環境の変化の方向性					
	5	こども家庭福祉のあゆみ					
	6	こども家庭福祉に関連する法律					
	7	こども家庭福祉サービスの動向					
	8	保育サービスの多様化					
	9	保育所における保育サービス					
	10	認定こども園について					
	11	こどもと家庭を取り巻く問題① 待機児童					
	12	こどもと家庭を取り巻く問題② こどもの虐待 DV					
	13	養護を必要とするこどもへの施策					
	14	外国籍のこどもへの支援					
15	まとめ 正試験対策 プレテスト						
評価方法	(1) 授業用ノート提出の実施(2)宿題・レポートを数回実施(3)定期試験を実施する。成績評価基準は定期試験の点数を平均とし、S(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					70%
	宿題・レポート・提出物	○	◎				15%
	出席・授業態度				◎		15%
履修上の注意	欠席が5回以上の場合には定期試験の受験資格を失う。授業用のノートかファイルを用意する事						

科目名	保育原理						
科目名(英)	hoikugennri						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口直子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	児童発達支援センター・心身障害福祉センター 保育士・臨床発達心理士		
対象学科・学年	社会福祉科2年						
授業概要	1. 子どもにとっての保育の必要性を考える 2. 子どもにとっての「遊び」を考える 3. 現代の子どもを取り巻く環境と保護者支援について考える 4. 保育園・幼稚園等の保育・教育の目的・目標・内容・方法等について学ぶ 5. 保育の思想や子ども観に影響を与えた人物について学ぶ、7. 保育士の専門性について考える						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人間の子どものために保育の必要性を説明できる	
	○					子どもにとっての遊の意義を説明できる	
	○					現代の子どもを取り巻く環境と子育て支援について説明できる	
	○					保育思想と子ども観に影響を与えた人物を覚える。	
	○					保育所・幼稚園の目的・目標・内容・方法を説明できる。	
○					児童福祉施設の役割、保育士の専門性を認識する。		
テキスト・教材 参考図書	配布レジュメのほか、必要に応じて授業中に紹介する						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	子どもの権利条約について					
	2	保育とは・保育の必要性					
	3	保育思想と子ども観の変遷～西洋①～					
	4	保育の思想と子ども観の変遷～西洋②～					
	5	保育の歴史に学ぶ～日本～					
	6	保育に関わる法律と制度					
	7	多様な保育の場					
	8	保育と子ども理解～遊びの意義～					
	9	保育の内容1					
	10	保育の内容2					
	11	保育の方法1					
	12	保育の方法2					
	13	レッジョ・エミリアについて					
	14	子育て支援の重要性～子育て社会の実情～					
15	保育者の専門性と資質向上・まとめ						
評価方法	筆記試験(80%)、宿題・ミニレポートなど(10%)、発表・グループワーク・授業態度等(10%)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト						
	宿題・レポート	○	◎		◎		10%
発表・作品				◎		10%	
履修上の注意							

科目名	児童と造形表現SC						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	屏賀一男		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	短大・専門学校において図画工作を指導		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	授業科目「図画工作Ⅱ」の内容を踏まえて、保育士としての実技基礎技術を実践する。その作品の作成・片付けの課程を通して、保育現場での子どもたちとの関わりや保育者としてのあるべき姿勢についての理解を深める。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
		○		○	自己表現する能力を深めることで、豊かな感性と人間性を身につける事ができる。		
	○			○	個性的な表現力のために、思考能力を発揮し、自己の文章・言葉で説明できるようになる。		
		○			明確な狙いを持って、保育現場で実践することが可能な教材を作成することができる。		
テキスト・教材 参考図書	・近畿大学九州短期大学 図画工作						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1日目 保育現場で使用することが可能な絵本の作成			制作部品を考案する。		
	2	1日目 保育現場で使用することが可能な絵本の作成			制作部品を考案する。		
	3	1日目 保育現場で使用することが可能な絵本の作成			制作部品を考案する。		
	4	1日目 保育現場で使用することが可能な絵本の作成			制作部品を考案する。		
	5	2日目 絵本の作成の続きと発表のリハーサル			1日目の作品の内容を踏まえて発表のシュミレーションを行う。		
	6	2日目 作品の発表					
	7	2日目 作品の発表					
	8	2日目 全日程の振り返りとまとめ			今回のスクーリングの内容・課程を踏まえ、レポートを作成する。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	出席を意欲点として評価する 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	○	◎		◎		70%
	レポート	◎	○		◎		30%
履修上の注意	①遅刻・欠席は認められない(該当する場合は再履修となる)。						

科目名	児童と言葉(保育実技)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	塩川 宏樹		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	保育所保育士・児童館職員		
対象学科・学年	社会福祉科2年						
授業概要	<p>・保育士指導者として子どもたちの前に立つ時、子どもたちの心の動きをよく観察し受け止めながら、どのように子どもたちを喜ばせられるか、又どのように意欲を引き出していくことができるかを学ぶ。</p> <p>・学生自身が創る(作る)喜び、伝える喜びを学び体得しながら、よりよい保育者を目指す。</p>						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					集中させる時の手遊び、教える手遊び、年生にあった手遊びを身につける	
	○			○		制作活動を幅広く経験する	
	○		○			身体的活動を(体育)楽しくするきっかけづくりを学ぶ	
	○	○				遊びの中にも知的活動があることを知る	
	○					子どもたちから意欲を引き出す方法を学ぶ	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容の説明(自己紹介)手あそび、歌あそび					
	2	人が育つ道筋について、毛糸を使ってお話、手品、あやとり					
	3	絵本の読み聞かせは、なぜ必要				好きな絵本をもちよる	
	4	絵本の読み聞かせ(好きな絵本を持ち寄る)					
	5	折り紙(不思議な輪、むっくり三角、羽ばたく鳥、馬、パンダ、おすもう、星、かえる、鉄砲・・・etc)					
	6	折り紙あそび					
	7	パネルシアター①(見る、作る、演じる)					
	8	パネルシアター②(見る、作る、演じる)					
	9	パネルシアター③ 発表					
	10	不思議な絵(色が消えたり、出したり)					
	11	不思議な絵 作業と発表					
	12	手袋シアター実演・製作					
	13	手袋シアター製作					
	14	手袋シアター発表					
	15	保育実技まとめ					
評価方法	以下の項目にて評価 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席				○		10%
	積極的参加				○		10%
	宿題、レポート		○				10%
発表、作品	○	◎		◎		70%	
履修上の注意							

科目名	子どもの保健						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川端 いづみ		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	養護教諭		
対象学科・学年	社会福祉科2年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの保健の意義、子どもを取り巻く最近の問題点及び今後の課題について学ぶ。</li> <li>・子どもに起こりやすい疾病や事故について、その予防と対策についても学ぶ。</li> <li>・テキストの内容を理解した上で、自分の考えを述べるができるようになる。</li> </ul>						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		子どもの保健の意義について知る。	
	○	○		○		子どもの心身の正常な発育、及び発達段階各期の特徴を理解する。	
	○	○		○		子どもの疾病、事故、その予防と対策について理解する。	
	○	○		○		保育者として、応急処置全般を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	「よくわかる子どもの保健 第3版」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	身体発育と保健			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。		
	2	生理機能の発達と保健			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	3	運動機能の発達と保健			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	4	精神機能の発達と保健			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	5	子どもの精神保健			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	6	子どもの生活と健康			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	7	子どもの疾病の特徴			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	8	呼吸器疾患			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	9	感染症・予防接種			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	10	消化器・循環器疾患			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	11	泌尿器・生殖器疾患			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	12	中枢神経系疾患・代謝内分泌疾患			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	13	整形外科・血液疾患			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
	14	現場で役立つ救急時の対応			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。		
15	子どもの事故防止対策と安全教育			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。レポートに必要な記事の収集を行う。			
評価方法	レポート、科目終末試験を総合評価します。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート・科目試験下書き	◎	◎		◎		80%
	小テスト	○	○	○	○		20%
履修上の注意	レポートの下書きが未提出の時は評価の対象としない。						

科目名	子育て支援SC						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	山下琢也		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院・高齢者施設にてソーシャルワーカー		
対象学科・学年	社会福祉科2年						
授業概要	保育において不可欠な「子どもとの関わり方」について具体的な実践方法について「子育て支援」の視点・側面より検討し、その内容を実践する。具体的には、複数学年による「子ども食堂」の運営を通じて実践に向けて学科内のコミュニケーションから準備するとともに、保育学・子どもの発達段階についての見地を鑑みて実際の現場を通じて、子どもたちとの関わりについて経験を積むことで、実践する力を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		グループにおいて積極的な協力を実践することができる。	
		○				各年令における発達・能力を把握した上で、その状況に応じた骨子案を計画することができる。	
	○					積極的に協力することで、実際の運動会に向けての運営を実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1日目	グループに分かれて発表の計画を立案、協議、確認作業			子どもの発達課程について事前に調べておき、その状況にあった内容・課程を検討する。	
	2	1日目	グループに分かれて発表の計画を立案、協議、確認作業			事前に各グループにて骨子案を計画、その内容に対して一旦の評価を受けて、再度の計画を立案する。	
	3	1日目	グループに分かれて表現方法・発表の計画をシュミレーション				
	4	1日目	グループに分かれて表現方法・発表の計画をシュミレーション			シュミレーションを繰り返し、その内容を適宜、修正する。そのことでブラッシュアップを図る。	
	5	2日目	計画・シュミレーションの内容を踏まえた各グループの実践			シュミレーションを繰り返し、その内容を適宜、修正する。そのことでブラッシュアップを図る。	
	6	2日目	計画・シュミレーションの内容を踏まえた各グループの実践			他のグループの内容と自らの内容を重ねることで、今後の課題を明確にする。	
	7	2日目	計画・シュミレーションの内容を踏まえた各グループの実践			他のグループの内容と自らの内容を重ねることで、今後の課題を明確にする。	
	8	2日目	実践に対する振り返り・反省				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	スクーリングにおける参加状況と意欲点として評価する 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	グループ内での協働・参加状況				◎		20%
	レポート作成		○				30%
発表への準備と実践の状況	○			○		50%	
履修上の注意							

科目名	保育の心理学						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	渡邊裕子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	元児童発達支援センター施設長		
対象学科・学年	社会福祉科 2年						
授業概要	この講義では、人間の発達について保育の観点からの理解を深めることを目指します。発達の中でも特に保育の対象となる乳幼児期と児童期について、知覚と運動、知能と言語、感情、遊びと社会性などの観点から説明します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					発達には段階があり各段階にはそれぞれ発達上の課題があることを理解する。	
	○	○				発達の多様性について理解することができる。	
		○		○		発達上の課題を効果的に支援する方法について理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	発達のとらえ方			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	2	発達の理論と研究			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	3	運動発達と身辺自立			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	4	言語の発達			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	5	コミュニケーションの仕組みと発達			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	6	コミュニケーショントレーニング			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	7	感情の発達			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	8	遊びの重要性			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	9	社会性の発達(親子関係、愛着)			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	10	社会性の発達(仲間との関係)			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	11	自己概念(セルフイメージ)			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	12	発達の多様性と保育			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	13	保育の現場における様々な発達支援			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
	14	心理的アプローチと支援			教科書の街頭範囲を事前に読んでおくこと		
15	自己分析、全体の振り返り			確認テストを実施するので、ノートや配布プリントを見直しておくこと			
評価方法	(1)授業の中でワークプリント作成を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を次のような観点・割合で評価する。成績評価基準は、(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ワークプリント作成	○	◎		○		20%
	発表	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	保育実習指導 I (教育課程総論)						
科目名(英)	Guidance to Child Care Field Study I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中山八保子・川原ゆり・若狭恵美		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	保育所、児童養護施設、児童発達支援センターにおいて、保育士として勤務(中山)		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	これまでの保育園一日体験を踏まえ保育園の社会的役割や成り立ちの違いを正しく理解する。特に0、1、2歳児の細かな発達の違いや連続性、以上児への発達のつながりを理解し、実習の中で実践と知識をつなげより理解を深めるための基礎を培っていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	◎				保育実習の目的を正しく理解する	
		◎				「保育園の役割」について正しく理解し説明することが出来る	
		◎	◎			保育園訪問にあたっての電話や訪問のマナーを理解し実践できる	
テキスト・教材 参考図書	同文書院版 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業オリエンテーション、実習の目的について					
	2	保育実習の流れについて(見学実習・事前実習・単位実習の意義)					
	3	実習生調査票について、調査票の記入について①					
	4	実習生調査票について、調査票の記入について②				実習施設への電話の掛け方、電話のマナーについて	
	5	実習が可能な施設の種類の種類について・見学実習先のリストアップ				保育園の情報収集を行っておくこと	
	6	見学実習先の最終候補の選定について				前回の授業でのリストアップをする	
	7	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得①					
	8	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得②					
	9	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得③					
	10	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得④					
	11	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得⑤					
	12	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得⑥					
	13	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得⑦					
	14	見学実習に向けての必要な知識・技術の習得⑧					
15	見学実習に向けての最終確認(必要書類)						
評価方法	①授業態度 ②提出物 ③実践への取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度	○	◎		◎		50%
	提出物	◎			◎		20%
	取り組み		◎		◎	○	30%
履修上の注意	出席が10回に満たないものに単位の修得は認めない						

科目名	教職概論						
科目名(英)	teaching concept						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川原 ゆり		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	障害児治療教育センター相談員 養護学校教員		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	社会福祉科では保育所の保育士だけではなく、「施設保育士」を養成することを目標としている。「保育」とは教育と養護を併せ持つ概念であり、「保育士」を取得するということは「教育者」であるという視点が必要である。教育とは何か、子どもにとって教師とは何か、教師の歴史、指導の方法と考え方、職務内容など、教職についての理解を深め、どのような教師として成長したらよいかという「問い」に自分で答えが見つけられるようにする。また、社会福祉の「人材」として求められる「問題解決能力」を培うためには、現代社会の問題を学習し理解することで、教育者になるための基礎を作る良いきっかけとする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		△		教育とは何かを理解し、児童に関わる仕事は、「教育者」であるという視点を持つ。	
		○		△		保育所実習に向けて、現代の子育てに関する問題点と対策を知る。	
		○		△		施設実習に向けて、子どもに関わる上での考え方や知識を得る。	
		○		△		児童に関わる職員(福祉職)に求められる資質や態度を理解する。	
	○		△		現代の子どもたちの置かれた状況に関心を持ち、知識を広げる。		
テキスト・教材 参考図書	新訂 教職入門～未来の教師に向けて 古橋和夫[編](萌文書林) 保育者養成のための初年次教育ワークブック(監修者:谷田貝公昭・大沢 裕)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	教職とは何か?～イントロダクション				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	2	教職とは?保育と教育の関係は?				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	3	保育とソーシャルワーク、保育の仕事、目的				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	4	現代社会と保育所の役割～事例で学ぶ教育・保育をする心				グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと	
	5	現代社会と保育所の役割～保育の基礎、フォトランゲージ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	6	現代社会と保育所の役割～4歳児のひみつ(子どもの視点)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	7	現代社会と保育所の役割～保護者支援				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	8	現代社会と保育所の役割～ひとり親家庭・貧困障害のある児童				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	9	現代社会と保育所の役割～現代の子どもが抱える問題～虐待				グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと	
	10	現代社会と保育所の役割～親や子どもにとって保育士とは				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	11	現代社会と保育所の役割～環境の変化・子育ての難しさ～				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	12	現代社会と保育所の役割～保育者の心構え～				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	13	現代社会と保育所の役割～人間力のある保育士・マンダラート				グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと	
	14	現代社会と保育所の役割～職場環境を整える～社会が求める人材				グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと	
15	現代社会と保育所の役割のまとめ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
評価方法	(1)レポート・課題提出を数回実施。 (2)意見の発表・グループワーク等での意欲・態度と内容の理解度。 (3)授業の出席状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート・課題提出	◎	◎				60%
	意見発表・グループワーク	○	◎		○		30%
	出席状況				◎		10%
履修上の注意							

科目名	保育内容総論SC						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	中山八保子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	保育所、児童養護施設、児童発達支援センターにおいて、保育士として勤務		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	保育実習指導を踏まえて、保育事前実習の経験した結果から得られた自身の課題を明確にして共有することで、今後の保育実習(単位実習)にむけての課題解決を図る指針とするとともに、日常生活における自己のあり方を再考し実践することを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					実習指導・保育事前実習で得られた経験をしっかりとまとめて理解・伝わるように表現・発表することができる。	
		○				保育現場における課題を明確にすることができる。	
				○		自己の課題を発見し見つけ直すことで保育者・人としてのあるべき姿について再考することができる。	
		○				保育単位実習にて行う「設定保育」について綿密に準備しシミュレーションを重ねることで、本番に向けての課題を明確にすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1日目 設定保育の発表の準備(各自でまとめる)			自身の課題や今後の展望についての考えを事前にまとめておく。		
	2	1日目 設定保育の実践及びシミュレーション(クラス内で発表・共有)					
	3	1日目 設定保育の実践及びシミュレーション(クラス内で発表・共有)					
	4	1日目 設定保育の実践及びシミュレーション(クラス内で発表・共有)			2日目に発表するメンバーは、1日目の発表の状況から準備内容を見直して修正すること		
	5	2日目 設定保育の発表の準備(各自でまとめる)					
	6	2日目 設定保育の実践及びシミュレーション(クラス内で発表・共有)					
	7	2日目 設定保育の実践及びシミュレーション(クラス内で発表・共有)					
	8	2日目 クラス内の発表内容の共有と保育実習(単位実習)に向けての準備			事前実習における自身の課題を明確にするとともに、単位実習や今後の日常生活における課題解決にむけての方向性を明確にする。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	出席を意欲点として評価する 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	振り返りの発表	○			◎		50%
	レポート	○			◎		50%
履修上の注意	遅刻・欠席は認められない(該当する場合は再履修となる)。						

科目名	図画工作Ⅱ							
科目名(英)	paint a picture							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	屏賀 一男			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	短大特任教授(図画工作) ガラス造形作家			
対象学科・学年	社会福祉科2年							
授業概要	表現することに対して、苦手意識を持っている学生が急増している。その意識を変えていくことが大事な課題であると思われる。無から有への表現を中心にして、眼に見えないものの表現を課題としていく。あらゆる教材の使用法、表現方法なども理解できるように指導する。西洋美術の世界だけではなく、日本国内の伝統的な工芸制作も体験してもらい、幼稚園・保育園・高齢者施設・障害者施設で役立つような制作を指導していく予定である。							
授業形式	講義:	演習:	○	実習:	実技:	△ ※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					制作した自分の作品について、テーマや表現方法、構図・色彩など、文章で説明することができる		
		○				制作を体験することで、あらゆる福祉現場での自分の役割を理解できるようになる		
		○				自己の感受性・創造力・集中力を養い、福祉の現場で力を発揮することができる		
				○		幼稚園児や高齢者と触れあう体験から、心や身体の変化に気づき、状況判断を学ぶことができる		
テキスト・教材 参考図書	近大テキスト							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	平面表現～フィンガーアートの制作				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	2	平面表現～クレパスを使った表現(スクラッチ技法)				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	3	造形表現～ダンボール、紙粘土、毛糸を使った表現				次回の授業のための準備を、各自で行う(20分)		
	4	造形表現～ダンボールアートの完成・提出				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	5	平面表現～色鉛筆で、大人の塗り絵の制作				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	6	平面表現～色紙を使った表現(色紙の感情表現)				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	7	造形表現～アクリル絵の具を使った表現				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	8	造形表現～あい染めの制作(テーブルクロス)				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)		
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
評価方法			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験							
	小テスト							
	宿題・レポート		○	○		○		20%
	発表・作品			○		○		80%
履修上の注意	絵の具は3原色と白・黒のみ。平面制作・立体制作を交互に行う。							

科目名	児童体育Ⅱ						
科目名(英)	Infat Physial Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	水上 勝彦		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	運動・体操教室を開講・近大非常勤講師		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	児童の発育、発達、心身の特徴を活かした体力づくりや運動あそび、安全管理の方法を習得する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○ ○			マット運動の補助ができるようになる。	
			○ ○			跳び箱運動の補助ができるようになる。	
			○ ○			鉄棒運動の補助ができるようになる。	
			○ ○			逆上がり(個人)ができるようになる。	
		○ ○			各年齢別の体育指導及び外遊びの指導展開ができるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	近畿大学・「幼児体育」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	幼児体育の必要性について			実技活動のできる服装の準備		
	2	跳び箱運動の安全な補助について			実技活動のできる服装の準備		
	3	鉄棒運動の安全な補助について			実技活動のできる服装の準備		
	4	跳び箱運動の安全な補助について			実技活動のできる服装の準備		
	5	鉄棒・マット運動の安全な補助について(その他模擬指導)			実技活動のできる服装の準備		
	6	外遊び・ゲーム等を知らせる(その他模擬指導)			実技活動のできる服装の準備		
	7	外遊び・ゲーム等を知らせる(その他模擬指導)			実技活動のできる服装の準備		
	8	実技テスト、レポート			実技活動のできる服装の準備		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業への取り組み方(服装等についても)評価する。 ②授業中の各種目についてもテストを行う。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			◎	◎		70%
	小テスト			○			10%
	宿題・レポート			○			10%
発表				◎		10%	
履修上の注意	①出席が6回に満たない場合は、単位の修得は認めない。 ②服装においても運動に適さない場合、また改善の余地がない場合は①と同様とする。						

科目名	心理学と心理的支援						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大黒 剛		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	児童福祉施設や矯正施設で心理士として活動		
対象学科・学年	社会福祉科2年生						
授業概要	①さまざまな心理学理論の基礎を学び、人の心の成り立ちや状態を理解する視点を習得する。 ②心理的支援とは何か、日常生活で心理学を活用するにはどうすればよいか、基本となる考え方を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					さまざまな心理学理論を基に人の心の成り立ちや状態について説明できる。	
		○				日常生活の中に生かされている心理学について興味・関心を持ち、自身の日常生活と関係づけることができる。	
	○					心理的支援の意味を理解し、具体的な支援方法について説明できる。	
				○		人の心の仕組みを理解しようとする意欲と同時に自分の心の状態を見つめ理解しようとする基礎態度を身につける。	
テキスト・教材 参考図書	徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容についてオリエンテーション、「心理学とは？」					
	2	心理学への招待「心理学とその歴史」				教科書該当範囲をあらかじめ読んでおくこと	
	3	心の育ち方「乳幼児期から思春期まで」母子関係、友人関係				対人関係の基礎となる、養育者との関係について考えておくこと。	
	4	心の育ち方「青年期から成人まで」恋愛と結婚について				あなたにとって恋愛とは何か、結婚とは何か、恋愛と結婚の違いとは何か、考えておくこと。	
	5	人の個性を科学する「性格とパーソナリティ」				自分の性格について自己分析して語れるようにしておくこと。	
	6	心のしくみ①「記憶」忘れたい人がいるのに忘れられない謎				忘れたい記憶なのにどうしても忘れられない話があれば語れるように準備しておくこと。	
	7	心のしくみ②「動機付け」「感情」				やる気がない時に、どのようにやる気を上げているのかを考えておくこと。	
	8	心のしくみ③「学習」「言語」「思考」				あなたは自分の経験をどのように未来に活かしているのか、考えておくこと。	
	9	社会的問題と心理学①「児童虐待とは何か」				児童虐待事件について、インターネットなどから最新の情報を集めておくこと。	
	10	社会的問題と心理学②「児童虐待の影響」				心的外傷後ストレス障害、愛着障害について勉強しておくこと。	
	11	心の傷と心の病気①「さまざまな精神疾患」				傷付き体験やストレス、ストレッサーについて考えておくこと。	
	12	心の傷と心の病気②「うつ病」「自殺」				うつ病や自殺に関する最近の動向について、厚生労働省のホームページなどを確認しておくこと。	
	13	社会と集団①「対人魅力」モテる人とモテない人の違いとは。				モテる人とはどんな人か、どうすればモテるようになるのか、考えておくこと。	
	14	社会と集団②「自分は他人からどう見られているのか」				自分は自分のことをどう思っているのか、他人は自分のことをどう思っているのか、考えておくこと。	
	15	まとめと復習				心理学とは何か、日常生活で心理学を活用するためにはどんな方法があるのか、考えておくこと。	
評価方法	(1)講義の終わりに感想・疑問点・気がついたことなどを記入・提出してもらおう。(2)期末試験を実施する。(3)出席回数。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							

科目名	音楽表現Ⅱ(音楽(理論))						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森田ゆかり・村上京子・西頭輝子・亀谷葉・松竹玲奈		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	学校にて非常勤講師として勤務		
対象学科・学年	社会福祉科・2年						
授業概要	1・ピアノに親しみ、2年次までの2年間で表現力、テクニックを磨き、修了コンサートの成功を目指して努力する。 2・音楽の基本的な理解と、音楽活動での様々な楽器の習得を目指します。 3・歌唱や合唱を通して社会人としての基礎力(表現力・チームワーク・理解力・向上心)を磨きます。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○			○	音楽の基礎となる楽典を理解し、楽譜を正確に読むことができる。		
					楽譜に書かれている音を自分のものにし、表現することができる。		
	○				歌の歌詞を理解し、相手に伝わるよう表情豊かに歌うことができる。		
				○	他者からの助言がなくても、自分で解説し練習することができる。		
		○			自主練によってテクニックを磨き、技術を習得することができる。		
テキスト・教材 参考図書	・近畿大学九州短期大学 音楽 ピアノ教本 ・近畿大学九州短期大学 音楽 声楽教本 ・みんなのコーラス						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	歌(早春賦・春が来た)お披露目コンサート課題の練習。 終了後C.G.F.スケールの復習プラスDスケール練習。			1年後期に各自選曲したものを練習しておく。		
	2	お披露目コンサート。終了後、合唱(あの素晴らしい愛をもう一度) ピアノ(たなばたさま・バイエル96番)			たなばたさまをペダル無しで綺麗に弾けるよう練習する。		
	3	バイエル96番。ペダルの導入(たなばたさま) 歌(春の小川・愉快な牧場)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			ペダルを踏むタイミングと離すタイミングの練習。 バイエル96番の練習を併用する。		
	4	バイエル96番。ペダルの導入(たなばたさま) 歌(荒城の月・ずいずいづっこぼし)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			ペダルを踏むタイミングと離すタイミングの練習。 バイエル96番の練習を併用する。		
	5	バイエル96番。引き続きペダルの導入(たなばたさま) 歌(見上げてごらん夜の星を・黄金虫)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			ペダルを踏むタイミングと離すタイミングの練習。 バイエル96番の練習を併用する。		
	6	バイエル96番。ペダルの導入(たなばたさま) 歌(この広い野原いっぱい・金魚の屋敷)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			96番の形式AA BAAを理解し効率よく練習する。 ペダルの練習。		
	7	バイエル96番。ペダルの導入(たなばたさま) 歌(おなかのへるうた・あんたがたどこさ)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			96番(左右のメロディの入れ替わりを意識して練習)ペダルの練習。		
	8	バイエル96番。ペダル仕上げ。 歌(白いブランコ・夕焼け小焼け)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			96番(AAとBの曲調の違いを意識しメリハリを付ける練習)ペダルの練習。		
	9	小テスト(たなばたさまを弾きながらペダルを正確に踏む) 終了後96番。歌(テントウ虫のサンバ・赤とんぼ)時間があれば合唱。			96番練習。及び100番への取り組み。 及び各自テキスト曲の練習。		
	10	バイエル96番及び100番。及び各自選曲したテキスト曲。 歌(いい日旅立ち・アルプス一万尺)合唱(あの素晴らしい愛をもう一度)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
	11	バイエル96番及び100番。及び各自選曲したテキスト曲。 歌(南の島のハメハメハ大王・夏の思い出)合唱(上を向いて歩こう)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
	12	バイエル96番及び100番及びテキスト曲。 歌(通りゃんせ・里の秋)合唱(上を向いて歩こう)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
	13	バイエル96番及び100番及びテキスト曲。 歌(若者たち・切手のない贈り物)合唱(上を向いて歩こう)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
	14	バイエル96番及び100番及びテキスト曲。 歌(もみじ・想い出の渚)合唱(上を向いて歩こう)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
	15	バイエル96番及び100番及びテキスト曲。 歌(太陽がくれた季節)合唱(上を向いて歩こう)			96番仕上げ。 及び100番、各自テキスト曲練習。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを1回実施する。(2)ピアノの課題が合格次第テキスト曲も各自選曲しながら進めていく。 (3)歌唱試験を1回実施する。(4)ピアノ実技試験を1回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		ピアノ表現	歌唱表現	演奏技術	楽典理解	自主実行力	評価割合
	定期実技試験	◎	◎	○	○		70%
	小テスト			◎	○		10%
	課題進度					◎	10%
内申点					◎	10%	
履修上の注意	出席が17回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						